

【委員からの主な意見】

(1) 第6期みやぎ観光戦略プランの中間案

- ① 示された資料の宮城県を取り巻く環境というものが、まさに東松島で取り組むべきことが課題として記載されてある。インバウンドの重要性やデジタル化の実現、観光SDGsなどを掲げているということで、このプランを推進し、成功させたいなという思いをした。
- ② ガストロノミーツーリズムのようなカタカナ表記を敢えて使わなければいけないのだろうか。
- ③ 基本理念の「all round」については、頭文字を大文字表記にするなど、目につく表記にするというのもインパクトを強める意味でも良いのではないか。
- ④ 戦略として色々と記載あるが、実際にどこまで実施していけるのかということが重要ではないか。
- ⑤ 「all round な観光地」というフレーズは今回初めて提示されたと思うが、定義が不明確。県全体のプランなので総論で書くことも必要だと思うが、ここはもっと練り込んで欲しい。
- ⑥ 欧米系のインバウンドにはローカルガストロノミーを求めて日本中の田舎にやってくるというトレンドも生まれつつある。これを取り入れたというのは良いことだと思う。
- ⑦ アニメツーリズムのような石巻圏域の特徴的なところを県全体のプランに記載してくださったことは感謝。
- ⑧ 取組の方向性の一覧にないことには対応しないとなると困るので、記載しきれない部分には、「等」と記載して欲しい。
- ⑨ 「観光地の磨き上げ」とよく言うが、磨き上げるものは人材や食や施設など沢山あり、コストがかかる。これに対する補助のようなものが項目としてあっても良いのでは。
- ⑩ このプランを本当に実施できるのであれば素晴らしいが、できるのか。全てが網羅され過ぎているが具体的な取組の記載がない。取りこぼしのない未来を目指すのだと思うが、あえて切り捨てる部分も必要ではないか。
- ⑪ プランの内容が、この地域じゃないとできない内容ではない。地域の特徴に特化して、一点突破する方が未来も見えやすいのでは。
- ⑫ 中間案には具体的に何をやるか書かれていない。旅行に行く方は何らかの目的を持っている。例えば女川の秋の収穫祭に来た人はサンマを食べに来ている。そういうコンテンツをもっと押して記載した方が良いと思う。
- ⑬ 記載内容については素晴らしいが、本当に実行できるのかなと思う。実現できないと意味がないので、もう少し内容を絞った方が良いのでは。
- ⑭ 今後の取組の方向性として様々な取り組みが列挙されているが、ベジタリアンなどの多様なニーズについては、既にあるものを集約して、観光客やインバウンドが見れるようにするという方法もあるのでは。
- ⑮ アニメツーリズムについては、マンガやロケ地の聖地巡礼などの需要が高いので、1つのコンテンツとして良いのではないか。

- ⑯ 県全体のプランに、「マンガ」という言葉が入っていた方が認知されやすい。

## (2) 圏域の施策の方向性及び取組

### ① 圏域の観光の現状課題・施策の方向性及び取組

- ① 観光戦略なので、石巻圏域というのは何が楽しくて何が美味しいのかという情報を発信していかなければならない。石巻圏域は食に関しては他の圏域に対しても引けを取らないと思う。そこをもっと発信していけないものかと考える。
- ② インバウンドを増やすということであれば、施策は資料の中に色々と記載してあるが、インパクト強めな「石巻圏域と言えればこれ」といったものを作り、皆でバックアップしていくのが良いのではないか。
- ③ 石巻圏域の魅力を発信するために、プロモーションを各市町で行っていると思うが、PR ビデオのようなものは皆にあまり知られていない。色々取組ながら、石巻の魅力を発信していくことで、この観光戦略プランに結びついてくるのではないかと思う。
- ④ タクシー業界の立場からは、観光地型 MaaS について、石巻圏域で可能かどうか疑問である。
- ⑤ 石巻圏域で観光客が増えているとは言いが、タクシー業界の売り上げは落ちている。自家用車での旅行が多いのでは。
- ⑥ MaaS と言っても具体的にイメージが付きにくい、実際にルートが企画されれば、協力しようと思う。
- ⑦ 資料中で課題とされていた情報発信の強化というところは重要視している。一番の発信力は学生の SNS だと思う。第 6 期という短いスパンで見れば、オルレや潮風トレイル、道の駅の情報発信の強化というのは一つのキーだと思っている。
- ⑧ 観光施設から次の施設に移動する場合の交通機関は車が多いと思う。観光客が集まってくる石巻駅などからの二次交通のハブ化ができると良い。
- ⑨ 石巻のキャッチフレーズは、海や空がメインで出てくるが、川や山も石巻圏域にはある。北上川は全国で 4 番目に長い川なので、キャッチフレーズに乗せてアピールしていければ良いと思う。
- ⑩ MaaS というのは、いかに地方で観光客の必要に応じた移動手段を付加価値をつけて手配できるのかということだと思う。そういった部分で言えば、タクシーやバスにもニーズはある。タクシーを複数人で借り上げて、旅行をした場合、一見高そうに思えてもコスパは良かったりする。使い方を提示できれば、もっと収益が上がると思う。
- ⑪ 過去に複数のタクシー会社と観光協会が連携して、石巻駅からのモデルコースを作ったことがあるが、必ずしもこちらで作成した商品に観光客が乗ってくれるものではなかった。例えば、石巻駅に到着した時点で、観光客が自分でプランを作り、それに対応できるような仕組みがあれば良いと思う。
- ⑫ 観光客のニーズとして、高い料金を支払うことに抵抗がある方は少なくなったと感じる。むしろ高価でもより面白いものを求めるケースも生まれつつあるので、そういった商品作りを、この地域の業界上げて対応できる体制を作ることが MaaS については大事だと思う。
- ⑬ 県全体のプランは大项目的なことが書かれているとしたら、石巻圏域のものは中項目

的なことが書かれていくと思うので、そのメニューは沢山あった方が良いと思っている。

- ⑭ 石ノ森萬画館は、世界的な観光地となりつつあるので、ここでコスプレ大会をやるなど、そういうことを本気で考えて、外から見て馬鹿みたいだなと思うようなことでもチャレンジしていくという土壌づくりがこの圏域で進むことがすごく大事だと思っている。
- ⑮ サンファン館は船を見る施設ではなく、支倉常長の慶長遣欧使節がヨーロッパに命がけで行ったことを知ってもらうための施設で、復元船が小さくなったことは問題ではなく、むしろリニューアルオープン後は歴史についてよく説明できる施設になったと思っている。しかし支倉常長があまり知られていないので、伊達政宗の部下であったことから、伊達政宗とセットでPRする方が良いのではないかと思う。そうすれば歴史好きな外国の方がサンファン館に来てくれる。
- ⑯ 地域の観光資源の磨き上げと言われてから10年は経っている。ここで本気で磨き上げないと沈没するという感じがする。
- ⑰ 食に関しては寿司を是非入れて欲しい。石巻圏域はやはり寿司だと思うので。
- ⑱ 都会でタクシー業界が儲かっているのは、外国人が多いからではないか。外国人はレンタカーも借りないので、外国人観光客をいかに石巻圏域に誘致するかがタクシー業界の隆盛に繋がるのでは。それをプランに組み込んで欲しい。
- ⑲ 資料にMaaSの話が出てきたが、東北MaaSに石巻駅までは入っている。石巻駅に来てからの二次交通が問題。周遊コースを選定するにあたっては、目的がないといけない。そしてリピーターを獲得していく必要がある。
- ⑳ 施策の方向性にインバウンドの受入とあるが、田代島を例にすると、インバウンドが多い時期と少ない時期がある。混んでいるときに、現地で物販やイベントの開催などを行えば収益が上がるのではないか。

## ②圏域別数値目標の設定の方向性

- ① 道の駅東松島の観光客入込数の目標値が100万人ということで、1日の通行台数を見ると100万人に立ち寄っていただくことは可能。ただし、トイレにだけ寄って帰ってしまわないような仕掛けを作っていかなければならないと思っている。
- ② 数値目標について、観光客入込数に対しての宿泊観光客数の割合が目標6%となっているが、他の圏域よりも低いので、目標としては低いと感じる。とは言え、割合を上げれば良いというわけではない。本来ならば観光客入込数はもっと精査されるべきもの。ダブルカウントは当然あるような大雑把な数値なので、そこを石巻圏域はできるだけ正確にやっていくという考え方もあるのでは。そうすれば宿泊観光客の割合も10%を超えていくように思う。
- ③ 数値目標について、道の駅東松島の観光客数の見込みが100万人で、令和9年の観光客入込数の目標が100万人であれば、達成できるのでは。